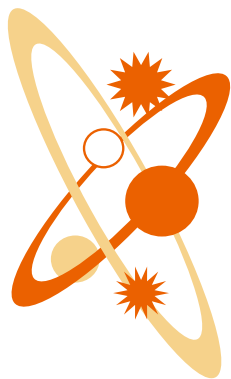


コラム ① 腸は「健康のバロメーター」です



腸は栄養や水分を吸収するだけでなく、1000種類以上、100兆個以上とも言われる腸内細菌が生息し、有害な侵入者から身体を守る「免疫」の場としても知られています。また、腸および腸内細菌は「脳」と情報を交換することでお互いに影響することが知られてきており、「ストレス」などの現代特有の悩みとの関係性も指摘されています。以上のことから、腸内環境を知ることはとても重要なことなのです。

コラム ② 腸内環境の変化に気づきましょう

腸内にいる細菌たちは、私たちが食べたものを元に様々な物質を生み出します。それはアミノ酸やビタミンなどの身体にとってうれしい物質であったり、逆に困った物質だったりします。

腸内での細菌のバランスは、食習慣・生活習慣やストレスなどの影響を受けやすく、変化してしまいます。そこで、腸の変化に気づくことが大切です。



PE01_a



大正製薬 健康チェッカー 『腸内環境』

尿検査項目

- インドキシル硫酸

検査結果通知内容

- レベル判定
- 平均値（ヘルスケアシステムズ社調査）との比較
- 生活習慣の見直しに向けたアドバイス

尿検査キット在中

- ◆健康チェッカー『腸内環境』は、生活習慣を見直すためのヘルスケアチェックです。病気の診断をするものではありませんのでご注意ください。
- ◆この検査キットには、郵送、検査、結果通知、検査データ管理の全費用が含まれます。

尿であなたの『腸内環境』がわかります

腸内環境を改善するために、食生活や生活習慣の見直しなど日常の中でできる「腸活」は色々あります。ところが、改善された実感があまり感じられない、変化が分かりづらい…という方も多いのではないのでしょうか。そこで、腸内環境をもっと手軽に調べる方法として注目したのが【インドール】という物質です。

POINT ① 【インドール】とは？

インドールは主に腸内細菌によってつくられ、特有な臭いがある腐敗物質とも言われています。インドールは腸から体内に吸収されてしまうので、いかにつくられる量を減らすかがポイントになります。腸内環境の影響を受けてインドールの量が変化するため、腸内環境を評価する指標としても使われています。

POINT ② どうして尿検査でわかるの？

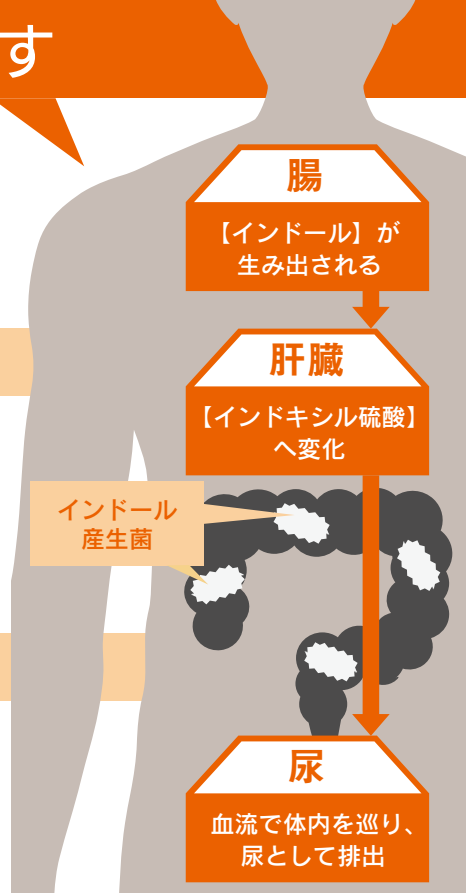
腸内細菌が生み出したインドールは、体内で【インドキシル硫酸】という物質に変換された後に、尿と共に体の外に排出されます。尿中のインドキシル硫酸は主に腸内細菌由来と考えられているので、この物質の量を測定することで、腸内の環境を推し量ることができます。

POINT ③ どんな検査結果がもらえるの？

①自分のインドキシル硫酸の測定値だけでなく、②平均値との比較、[※]
③レベル判定（Aランク～Dランク）をお渡しいたします。また、「腸
によい生活習慣」を送るための生活アドバイスもお伝えいたします。

※ヘルスケアシステムズ社調査

検査結果通知表イメージ →



健康チェッカー「腸内環境」検査結果通知表

検査日： 20XX/XX/XX
お名前： 検査 太郎 様
検査ID： PEAAXXXXX

検査項目	インドキシル硫酸	コメント
検体	尿	
測定値	① 53.6 µg/mg Cr	
	C ③	
	②	

あなたの腸内で生成された腐敗物質はやや多いようです。
あなたの測定値は、全体を数値順に4グループに分類した中で、インドキシル硫酸が2番目に多いグループ・C ランクに属します。